

KOMA KOMA × 日文 はじめました。

コマドリアニメ制作アプリの金字塔「KOMA KOMA」。
 開発者の布山タルト教授（東京藝術大学）と日文がタッグを組み、
 ブラウザですぐに使える「KOMA KOMA × 日文」を開発しました。
 インストール不要でいつでも使える「KOMA KOMA × 日文」は以下からアクセスしてください。
 ※使用には別途通信料がかかる場合がありますので wi-fi 経由でアクセスすることをお勧めします。

インストール不要
 すぐに使える

こんなときに

- ✓ 一人一台端末を活用したい
- ✓ 手軽にアニメーションに表す授業に取り組みたい
- ✓ 端末にアプリをインストールできない



もっと楽しく「図画工作」 ～教科書・教師用指導書のみかた～

日文 教授用資料
 令和3年(2021年)10月1日発行
 編集・発行人 佐々木秀樹
 発行所 日本文教出版株式会社
 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
 TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33572

日本文教出版 株式会社 <https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
 TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
 TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-1114
 九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
 TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
 東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F・B
 TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
 北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
 TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

「図画工作」

もっと楽しく

教科書・教師用指導書のみかた

※本冊子掲載QRコードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。
 ※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

未来をにう子どもたちへ
日本文教出版

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

日本文教出版情報
 詳しくはWebへ!

令和2年(2020年)度版 小学校図画工作科内容解説資料として扱われます。



図画工作をもっとすてきな授業にしたい!!

日文は 70 年にあたり図画工作の教科書をつくってきました。

我々が大切にしてきたことはいつも同じです。
子どもたち一人ひとりがいきいきと資質・能力を発揮し、
友だちと、互いに認め合いながら学んでほしいという願い。
先生方がよりよい授業をするためのお手伝いがしたいという思い。

教科書や教師用指導書に、こうした願いや思いを含めています。

そして、「もっと教科書を活用したい」「指導書をどう使えばいいのか知りたい」といった先生方の声におこたえするためにできたのが、この冊子です。

この冊子をご覧になって、少しでも気になるところがあれば
ぜひもう一度教科書を開いてみてください。指導書の箱を開けてみてください。

我々の、子どもたちと先生方への思いが伝われば幸いです。



日本の教科書は「導入」「展開」「振り返り」いつでも授業で使えます。

導入

①題材名を板書する **主** **板書**

題材名を板書し、児童の興味を引き出します。

②リード文を読む **主** **深**

提案の言葉を投げかけ、児童が活動への意欲を高めたり、想像を広げたりできるようにします。

例：演示する

活動の方法を試して見せ、どんなことができそうか問いかけたり、材料や仕組みを見せ、何に見えるか問いかけたりするなど、発想を広げられるようにします。

例：教科書の参考作品を見て話し合わせる

教科書の作品を見ながら、発想していることや工夫していることについて話し合わせ、自分の表したいことについて考えられるようにします。

例：教科書デジタルコンテンツを見せる

教科書デジタルコンテンツの動画を見せ、発想を広げられるようにします。

指導書：デジタル教材の導入動画を見せる

例：児童の発言を板書する **板書**

児童が想像したことや思い付いたことを板書し、学級全体で共有することで、発想を広げられるようにします。

指導書：ワークシートを使って想像を広げる

③めあてを板書する **主** **板書**

「学習のめあて」を板書したり、掲示したりし、児童が学習の見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるようにします。

例：本時のめあてを板書する

リード文や「学習のめあて」から一部を抜き出して、本時のめあてを別に立てることもできます。

指導書：朱書編や指導解説編に示しためあてを板書する

主体的・対話的で深い学びのポイント、場面設定を意識した授業設計

主体的・対話的で深い学びの実現のためには、①学習を見通す／振り返ることで学びを自覚する場面 ②対話によって考えを広げる場面 ③児童が考える／教師が教える場面などを、題材の中でどのように設定するか考えることが大切です。この教科書は、そのサポートをします。

学習指導要領解説 図画工作第4章 指導計画の作成と内容の取扱い (1) 参考

振り返り

⑧振り返りの時間をもつ **主** **深** **板書**

例：学習のめあてを振り返る

板書した学習のめあてに照らし合わせて、観点ごとに活動を振り返らせませす。

例：「活動の後で」で振り返る

「活動の後で」を参考に、活動を通して気付いたことや感じたことを問いかけ、振り返らせませす。

指導書：今日の振り返りシート、作品カードを使う

展開

⑤めあての観点で机間指導をする

評価の観点から、児童のつぶやきや活動を肯定的に受け止めたり、支援したりします。

例：デジタルカメラなどで活動の記録をする

写真は、学級全体で共有し、児童が発想や工夫の手がかりを得られるようにしたり、振り返りの時間に使ったり、評価の参考にしたり、校内展覧会に展示したりできます。

⑥キャラクターのせりふを投げかける **深**

形や色などを捉えるヒントや、児童の発見を認める言葉など、「造形的な見方・考え方」に基づくキャラクター「ちろたん」のせりふを投げかけることで、深い学びに導きます。

⑦教科書の活動写真や作品を紹介する **対**

教科書の作品の工夫を紹介したり、前時の児童の活動を紹介したりし、新たな発想や構想、技能の手がかりを得られるようにします。また、友人と活動を見合っている写真を取り上げ、活動中の鑑賞や対話的な学びを促します。

教科書 1・2上 p.12-13 | 2～4 時間

ちょきちょきかざり

へんりん

ちょきちょきかざり

題材の目標

知識及び技能

知識

紙を切っているいろいろな形をつくり、教室を飾ったりするときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。

教科書の②では、思いがけずできた形、③は長く伸びていく形、④は同じ形に気付いている。また⑤は友人がつくった形を見ているいろいろな形ができることに気付いている。

技能

紙、はさみ、のりなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。

教科書の④⑤⑥では、長く切る、重ねて切るなど様々な切り方を工夫しながら、はさみの扱いに慣れている。①や②では、飾りの並べ方や飾る場所などを工夫している。

思考力、判断力、表現力等

発想や構想

切った紙の形や色から感じたこと、想像したこと、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。

教科書の④⑤⑥では、様々な紙の使い方や切り方を思い付いている。また、①②の飾りの形からも、直線や曲線、切る形や回数などを考えていることがうかがえ、思いに合った飾り方も考えている。

鑑賞

自分たちの作品や飾った様子などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。

教科書の④や⑤では、切って開いてできる形の面白さを味わっている。⑥では、友人のつくった形の面白さにも気付いている。①②では、飾った場所の楽しさを味わっている。

自分のイメージをもつこと

いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもつ。

学びに向かう力、人間性等

楽しく紙を切ることができるいろいろな形で、教室を飾る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。

教科書の②③は、ゆっくりと切ろうとしている姿勢や視線に意欲が見られる。④⑤では自分や友人がつくった形の面白さを味わっている。⑦は自分がつくった形に満足感を得ている。

評価規準例

題材の評価規準例は、指導書指導解説編に掲載しています。また、評価規準の作成については本書 p.10をご覧ください。

導入のポイント

切って開いたときに偶然生まれる形の面白さに児童が気付くことが大切である。導入では、実際に教師が紙を切って見せながら、「どんな形になると思う？」などと問いかけて期待をもたせるとともに、自分もやってみたいという気持ちを喚起する。

導入 15～30分

展開 60～135分

振り返り 15分

児童の活動	・紙を折ったり重ねたりして切ると面白い形ができることを知り、活動に関心をもつ。	・紙の折り方や重ね方、色紙の選び方、切り取る大きさや形などを試し、生まれる様々な形を存分に楽しむ。 ・教室や窓などをできたもので飾る。	・飾った場所を鑑賞し、飾りを見て感じた面白さや楽しさについて話す。
めあて	紙を折って切ることができる形の面白さを知り、活動に関心をもつ。	折り方や切り方、重ね方を工夫してつくり、教室を楽しく飾る。	飾りを飾った場所を見て、楽しさや面白さを味わう。
教師の言葉の例	・紙を折って切ると、どんな形ができるかな。	・いろいろな折り方や切り方、重ね方を試そう。教室を楽しく飾ろう。 ・飾りがたくさんできてきたね。どこを飾ると楽しくなるかな。つくり足してもいいね。	・飾ったら教室の感じが変わったね。みんなのつくった飾りを見てみよう。

ちょきちょきかざり

かみをきってできるいろいろなかたを、きょうしつをかざる。

きってできるかたちをみつけ、くふうしてつくる。

おったりきったりしながら、たのしいかたちをかんがえる。

おったりきったりすることや、かざることのたのしむ。

ながくのびていくよ。

おもしろいかたちができた。

かみをまわしてきると、かざりてきると。

おたりかたをきってみよう。

きったかみをひらくと。

おもしろいかたちになった。

かたちがつながったよ。

ここがすきだな。

おいかたやきりかたをくふうするとたのしいかたちになるね。

まだにかざしてもいいね。

きをつけよう
はさみのさきでやゆびをきらないようにしよう。

かたづけ
つかえるかみはとっておこう。

みんなできょうしつをかざるとあかるくたのしくなるね。

つくりかた

ふたつにおる。 → ひとつにおる。 → きる。

ふたつにおる。 → ひとつにおる。 → きる。

ふたつにおる。 → ひとつにおる。 → へしをつなげてきる。

……おるところ — きるところ

指導の手立て

知識

- ・席を班の形にし、向かい合って活動しながら、飾りになるいろいろな形に気付けるようにする。
- ・12～16色程度の色紙を色別に分けて用意し、色を選んでいるいろいろな色に気付けるようにする。

技能

- ・紙やはさみを使うことに慣れ、いろいろな折り方や重ね方、切り方を試したり、つくり直したりできるように、十分な量の色紙を用意する。
- ・児童の表情に注目し、感じた手応えに称賛の声をかけたり、工夫したことを聞き取ったりする。

発想や構想

- ・活動を急がせず、試したり考えたりする時間を十分に設ける。
- ・偶然生まれる形の面白さを伝えることで、いろいろな折り方や切り方を試したいという意欲を引き出し、やってみたいことを思い付けるようにする。

鑑賞

- ・班で向かい合って座る座席にして、活動途中の友人がつくっている形に気付けるようにする。
- ・飾った場所の面白さや楽しさを感じ取ることができるよう、飾った教室や廊下を見たり、感じ取ったことを話したりする時間を確保する。

自分のイメージをもつこと

- ・「開いたら、お花みたい」といった児童のイメージに関する発言を肯定的に受け止める。

学びに向かう力、人間性等

- ・色紙を切ったり、開いたりしたときの表情やつぶやきを捉え、児童の言葉をなぞった共感的な言葉で返したり、「つくった飾りでどこを飾ると楽しくなりそうかな」と期待をもてる言葉をかけたりする。

道徳との関連

C「よりよい学校生活、集団生活の充実」との関連が深い。教室を楽しく飾ることで、自分たちの学校生活が楽しくなることを感じることができるようになりたい。

活動の後で

自分たちのつくった飾りで、楽しい空間をつくることのできたという効力感を味わえるようにする。学校行事などで校内を飾る機会もあるので、本題材の経験を生活の中でも生かしたいという気持ちを育てたい。

キャラクター ちろたん

児童の個別の気付きに対して、折り方や切り方を工夫することで新しい形が生まれる楽しさを伝えている。

1 2つのパターンの時間配分

短時間と長時間、それぞれの時間配分を紹介しているので、フレキシブルに指導計画を立てることができます。

2 実態に応じた時間の調整

児童の実態から配当時間を検討できるように、指導のポイントを示しています。

3 発問や提案例

導入・展開・振り返り、それぞれのタイミングでの教師の発問、提案例を載せており、指導のポイントが分かりやすくなっています。

1

時間	想定される児童の発言		指導のポイント	教師の発問や提案
	短	長		
導入 15分	紙を折って切ると、どんな形ができるかな。			
導入 30分	紙を折って切ることができる形の面白さを知り、活動に関心をもつ。 ●紙を折ったり重ねたりして切ると面白い形ができることを知り、活動に関心をもつ。 ●幼児期のはさみの経験を思い出すとともに、安全で適切な使い方を知る。 ●小さくチョキチョキする切り方があったね。 ●大きくチョッキンの切り方もあったな。	紙を折って切ると、どんな形ができるかな。 ●紙を折ると「折る」「切る」「開いて、できた形を確認する」という一連の流れをゆっくりと演示し、活動への意欲を喚起する。 ▼教師が「紙を折る」「切る」「開いて、できた形を確認する」という一連の流れをゆっくりと演示し、活動への意欲を喚起する。 ▼安全で適切なはさみの使い方を演示する。 ・教師の手元が見えるよう近くに集める。 ・紙は、親指と他の指の先を合わせて持つよう伝える。 ・はさみを床に落としたり、刃の部分を持つたりしないよう伝える。	楽しい形ができるね。 自分でできるかな。 ●幼児期のはさみの経験を思い出すとともに、安全で適切な使い方を知る。 ・小さくチョキチョキする切り方があったね。 ・大きくチョッキンの切り方もあったな。	
展開 60分	いろいろな折り方や切り方、重ね方を試そう。教室を楽しく飾ろう。	いろいろな折り方や切り方、重ね方を試そう。教室を楽しく飾ろう。		
展開 135分	折り方や切り方、重ね方を工夫してつくり、教室を楽しく飾る。 ●紙の折り方や重ね方、色紙の選び方、切り取る大きさや形などを試し、生まれる様々な形を存分に楽しむ。 ●折る向きや回数を変えよう。 ●切るところや切る大きさによっていろいろな形になるね。 ●違う色の紙を重ねて切ると、色違いの同じ形ができるよ。	児童の発想や工夫を見取ったり、はさみの扱い方などを確認しながら、声をかけて回る。 ・指や体の感覚を動かしながら折ったり切ったりするよう促す。 ・つくった形の面白さや手応えを感じている児童がいたら、称賛の声をかけたり、工夫を聞き取ったりする。 ・面白い折り方や切り方を思い付いている児童を紹介する。 ・児童の様子を見ながら、必要に応じて、教科書で紹介していない折り方や切り方を紹介してもよい。 ・まずはいろいろな折り方・切り方を試し、できた形の面白さを十分に味わうことを大切に、児童の様子を見て、教室を飾る活動に移るようにする。 ◆紙を折って切ることができるいろいろな形や色に気付いている。	児童の発想や工夫を見取ったり、はさみの扱い方などを確認しながら、声をかけて回る。 ・指や体の感覚を動かしながら折ったり切ったりするよう促す。 ・つくった形の面白さや手応えを感じている児童がいたら、称賛の声をかけたり、工夫を聞き取ったりする。 ・面白い折り方や切り方を思い付いている児童を紹介する。 ・児童の様子を見ながら、必要に応じて、教科書で紹介していない折り方や切り方を紹介してもよい。 ・まずはいろいろな折り方・切り方を試し、できた形の面白さを十分に味わうことを大切に、児童の様子を見て、教室を飾る活動に移るようにする。 ◆紙を折って切ることができるいろいろな形や色に気付いている。	

ちよきちよき かざり

時間	想定される児童の発言		指導のポイント	教師の発問や提案
	短	長		
展開 (続き)	飾りがたくさんできてきたね。どこを飾ると楽しくなるかな。つくり足してもいいね。			
展開 (続き)	飾りがたくさんできてきたね。どこを飾ると楽しくなるかな。つくり足してもいいね。 ●教室や窓などをできたもので飾る。 ●新たな飾りをつくり、飾る。 ・どこに飾るといいかな。 ・教室の入り口につるしてもいいかも。 ・掲示板上に飾りたいな。先生に相談しよう。 ・二つ重ねて貼るときいい。 ・飾りが足りなくなってきたな。新しい形もつくりよう。	教室や廊下など、身近な場所を飾るよう提案する。 ・児童が自分で飾れるよう配慮するが、児童の手が届かない場所は、児童と相談の上教師が飾るようにする。 ・児童が自分で貼ることができるように、児童の手が届く高さに紙テープをつるす。 ・窓に貼るときは、セロハンテープでそのまま貼る方法と、輪にして貼る方法の両方を提示する。 ◆いろいろな折り方や切り方を試す中で、紙やはさみの扱いに十分に慣れ、工夫して飾りをつけている。 ◆楽しく飾りながら、飾りたい飾りの形や色を思い付き、様々な折り方や切り方を考えている。	教室や窓などをできたもので飾る。 ●新たな飾りをつくり、飾る。 ・どこに飾るといいかな。 ・教室の入り口につるしてもいいかも。 ・掲示板上に飾りたいな。先生に相談しよう。 ・二つ重ねて貼るときいい。 ・飾りが足りなくなってきたな。新しい形もつくりよう。	
振り返り 15分	飾ったら教室の感じが変わったね。みんなのつくった飾りを見てみよう。	飾ったら教室の感じが変わったね。みんなのつくった飾りを見てみよう。		
振り返り 15分	飾りや飾った場所を見て、楽しさや面白さを味わう。 ●飾った場所を鑑賞し、飾りを見て感じた面白さや楽しさについて話す。 ●教室が楽しくなった。 ●窓がお花畑みたいだね。 ●入り口を通るとき、飾りが頭や肩に触って気持ちいい。 ●ほかの学年の子にも、飾りを見てほしいな。 ●夏には海の飾りをつくったら楽しそう。	飾った場所を見たり触ったりして、飾りの面白さや楽しさについて交流することを提案する。 ・つくった形や、工夫したことを聞き取る。 ・友人のつくった飾りの形や色、飾り方などに着目するよう促す。触って確かめてもよいことを伝える。 ・可能であれば、飾った場所をしばらく保存し、楽しむようにする。 ・教室以外の場所を飾ったり、季節や行事に合わせて飾りをつくったりできることを伝え、今後の生活の中でも生かせることに気付けるようにする。 ◆自分や友人のつくった飾りの形や色の面白さや、飾った場所の楽しさなどを感じ取っている。	飾った場所を見たり触ったりして、飾りの面白さや楽しさについて交流することを提案する。 ・つくった形や、工夫したことを聞き取る。 ・友人のつくった飾りの形や色、飾り方などに着目するよう促す。触って確かめてもよいことを伝える。 ・可能であれば、飾った場所をしばらく保存し、楽しむようにする。 ・教室以外の場所を飾ったり、季節や行事に合わせて飾りをつくったりできることを伝え、今後の生活の中でも生かせることに気付けるようにする。 ◆自分や友人のつくった飾りの形や色の面白さや、飾った場所の楽しさなどを感じ取っている。	

◆評価の観点… 知 知識 技 技能 思(発) 思考・判断・表現(発想や構想) 思(鑑) 思考・判断・表現(鑑賞)

※「主体的に学習に取り組む態度」は、児童が自ら、「知識及び技能」を獲得したり「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、粘り強く取り組んだり学習を調整したりしている姿を、活動全体を通して評価する。

4 児童の発言例

教師の発問に対応する児童の発言例を紹介しています。具体的な授業をイメージするのに役立ちます。

5 観点別の評価ポイント

どのタイミングでどの観点の評価するのか、どういった視点で評価するのかを分かりやすく示しています。

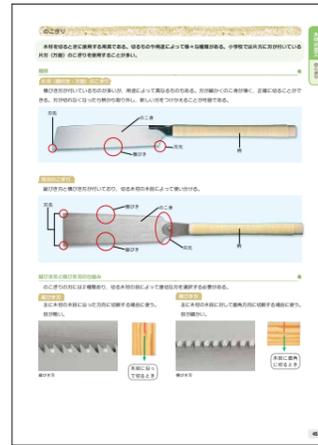
6 教科書の活用

教科書活用のタイミングと方法を明記しているため、安心して教科書の題材に取り組みます。

6 教科書の活用

- 導入時にみんなで題材ページを見ることで、活動への関心や見通しをもつ。
- いろいろな形ができることに気付けるように、題材ページの「つくりかた」を見ながら紙の折り方や切り方を説明する。
- 「はさみをつかって かみを きろう」(1・2上p.64)で、はさみの基本的な使い方について指導する。

準備から授業中まで。指導書には使える資料が盛りだくさん。



A4判/168ページ
*全学年共通

材料・用具編

材料の特徴・用具の安全な使い方・技法の手順など、図画工作で使用する材料・用具の基礎から応用までを詳しく解説しています。

こんなときに

- ✔ 用具の扱いに自信がない
- ✔ 安全指導で何をどこまで伝えたらよいか知りたい
- ✔ 技法の指導の仕方を知りたい
- ✔ 材料の選び方が分からない



アート・カード、解説冊子

3種類のカードを使って、アートゲームをすることができます。解説冊子には、作品の詳しい情報や遊び方、学習指導案などが掲載されています。

こんなときに

- ✔ 鑑賞の学習をもっと楽しくしたい
- ✔ 美術作品と楽しく出会わせたい
- ✔ 地域の美術館のアート・カードも活用したい

カードA6判/
冊子A5判56ページ
*低・中・高学年別

- ▶ 作品カード 40枚×3セット
- ▶ 素材カード 10枚×3セット
- ▶ 言葉カード 10枚

写真提供：ユニフォプレス

A3判ノビ *全学年共通

題材系統表

題材を分野・系統別に配列し、一覧できるようにしています。指導計画を立てる際に役立ちます。

こんなときに

- ✔ 題材を選ぶ基準を考えたい
- ✔ バランスよく題材を選択したい
- ✔ 6年間の学びを見通したい



A4判/48ページ
*低・中・高学年別

実践事例編

全国で実践された授業の事例を掲載しています。ほかの地域での実践や、いろいろな先生の考え方などを知ることができます。

こんなときに

- ✔ 教科書以外の題材に取り組みたい
- ✔ ほかの先生がどのように題材を考えているのか知りたい

A1判/10枚
*各学年別

大判掲示資料編

材料の種類、用具の使い方、身近なものの鑑賞、美術作品などをA1サイズの大判ポスターにしました。授業時に教室に貼って指導に使ったり、図工室などに掲示して学びを深めたりすることができます。

こんなときに

- ✔ 用具との出会いの期待感を高めたい
- ✔ 日常から、子どもたちの造形的な視点を養いたい
- ✔ 大きな図版で鑑賞の活動をしたい



指導者用デジタル教材

より分かりやすく楽しい授業をお手伝い。



「指導者用デジタル教材」は指導書に同梱されています。



1 導入コンテンツ

動画やスライドの導入コンテンツを使えば、子どもたちの学びの意欲が高まり、発想が広がります。

こんなときに

- 事前に導入について確認しておきたい
- 導入に自信がない
- 子どもたちと対話しながら導入したい

わすれられない気持ち (p.26-27) 本文教出版

導入コンテンツ

1

わすれられない気持ち

0:00 / 2:01

2

1 つくり方, 材料・用具使い動画

絵のぐ
絵のぐをつかってかく

絵のぐ
色をまぜる

絵のぐ
ひっせんのかい方

絵のぐ
いろいろならわし方

絵の具を使った表し方
マーブリング

学習のめあて

3

生活の中で感じた気持ちに合う形や色を見つけ、表し方をくふうする。

表したい様子を思いつくかべ、どのように表すのか考える。

生活の中で感じた気持ちを表すことを楽しむ。

教科書を見る

4



2 使い動画

のべ 200 本以上の材料・用具の使い動画を搭載。題材ページからだけでなく、一覧から必要な材料や用具の使い方を選んで見せることもできます。

こんなときに

- 大きな画面で演示したい
- 用具の扱いに自信がない
- 個別に指導を行いたい

3 学習のめあての拡大表示

学習のめあてを拡大表示できます。めあてを板書しなくても、いつでも子どもたちと確認できます。

こんなときに

- めあてを板書せずに子どもたちと共有したい
- 子どもたちに常にめあてを意識させたい

4 紙面 PDF

紙面を簡単に拡大表示できるので、必要なところだけ見せることができます。

こんなときに

- 子どもの視線を集中させたい
- 教科書紙面で導入をしたい



5 ワークシート

ワークシートと作品カードを PDF と Word ファイルをご用意しました。データを子どもに配布したり、プリントアウトして使用できます。

こんなときに

- 振り返りを充実させたい
- 子どもたちの思いを評価に反映させたい
- 教育支援システムと連携したい

サーバ版、配信版のサポートも充実！

学校の PC で DVD の再生ができない場合のために、「ファイルサーバ版」「web サーバ版」※1「配信版」※2をご用意しております。タブレットでもご利用いただくことが可能です。

指導書をご購入いただいている学校様は、右の QR コードからお申し込みいただけます。



※1 「ファイルサーバ版」「web サーバ版」は学校や自治体のサーバにデータを置いていただき、イントラネットでアクセスいただくものです。
 ※2 「配信版」は弊社のサーバにアクセスしてご利用いただくものです。使用にあたっては、学校から外部サーバへのアクセスが認められている必要があります。また通信会社との契約内容によっては通信料がかかる場合がございますのでお気を付けください。

よりよい図工の学びをサポートするために、日文では様々な資料をご用意しています。



形-forme-

60年以上にわたり日本の図工教育に寄り添ってきた、日文の機関誌です。



ABCシリーズ

図工教育から子育てまで、北海道の阿部宏行先生が、マンガで分かりやすくお伝えします。



図工のお悩み相談室

日々の指導でのちょっとしたお悩みを著者の先生と一緒に考えましょう。



図工のみかた

著者の先生が、図工への熱い思いと新しい学習指導要領について語ります。



日文のサイトにもたくさんの情報があります。



全国の子どもたちの作品をたくさん公開しています。随時更新中！



冊子には掲載できなかったたくさんのお悩みをご紹介します。お悩みも募集中です！



教科書の使い方、評価規準の作り方もこれでばっちり！



先生のためになる、図工に関するいろいろな動画を紹介します。



日文の図画工作教育専門サイト「図工のみかた」でもいろいろな情報を紹介しています。



東京都図工専科教諭の鈴木陽子先生が語る、いつもの図工室での子どもたちの学びの姿。



群馬大学市川寛也先生と一緒に、まちの中にある図工を探しにいきましょう。



ソニー・グローバルエデュケーション清水輝大さんが、図工の視点でプログラミング教育を語ります。